

川南町議会リコール成立 即日解散 出直し選へ

川南町議会（定数13）の解散請求（リコール）の賛否を問う住民投票は9日投開票され、賛成が有効投票の過半数となり、リコールが成立した。議会は即日解散し、40日以内に出直し町議選が実施される。賛成4230票、反対1768票、投票率は50.51%だった。

リコールは中学校の統合、建設計画に端を発する対立から、議会が機能不全に陥っていると主張する住民グループが昨年12月に本請求。昨年9月議会で副町長選任案が否決されるなど混乱が続いたことが引き金となった。

本請求前の署名活動では、議会への厳しい視線を追い風に、必要とされる有権者の3分の1を千票近く上回る5007人の有効署名を収集。グループは告示後、署名に応じた町民に「もう一度協力が必要」と呼びかけてきた。

一方、中学校建設反対派の町議や住民は、出直し選挙で建設議論が再燃することを警戒。ビラや街宣車で建設や解散への反対を訴えたが及ばなかった。

解散請求で住民代表を務めた押川義光元副町長は「希望ある町にした」という住民の思いが大差でのリ

コール成立につながった。（新たな議会では）幅広い年代が議論して、より良い川南をつくってほしい」と述べた。

当日有権者数は1万1973人（男性5667人、女性6306人）。8日までの期日前投票者数は2973人だった。



川南町議会への解散請求（リコール）の賛否を問う住民投票で、開票作業を進める町職員ら＝9日午後、同町

宮崎市出身の湯浅優勝

延岡西日本マラソン

第63回延岡西日本マラソンは9日、延岡市役所を発着（日向市原町折り返し）の日本陸連公認コースで行われ、男子は宮崎市出身で宮崎大高出の湯浅仁（トヨタ自動車）が、2時間9分43秒の歴代2位のタイムで優勝した。2位は2時間10分32秒で井上亮真（中電工）、3位に竹村拓真（SGホールディングス）が入った。

好天の中、レースは30キロ過ぎまで十数人の集団で進んだが、32キロ付近の坂で湯浅が抜け出すと、そこからペースを上げて後続との差を広げていった。

3度目のマラソンで自己ベストも5分以上更新した湯浅は「順調に練習を消化できていたので、自信を持って走れた。沿道から自分の名前をたくさん呼んでもらい、ものすごく力になった」と話した。



2時間9分43秒で優勝した湯浅仁（トヨタ自動車）＝9日午前、延岡市

旭化成勢は、山田真生が20キロ付近から遅れ20位、今井崇人は24キロ付近で先頭集団から離れ、22位だった。

女子は、小川暁子（児湯郡陸協）が2時間40分32秒で2連覇を果たした。

手話、筆談の心構え学ぶ

国スポ・障スポ向け 指導者研修会

2027年に本県で開かれる国民スポーツ大会（国スポ）・全国障害者スポーツ大会（障スポ）で、手話・要約筆記ボランティアの核となるリーダーと指導者向けの第3回研修会は9日、宮崎市の県福祉総合センターであった。約70人が参加し、本番に向けた心構えや活動内容を学んだ。

24年の佐賀大会に参加した手話通訳士と要約筆記者が講演を行った。手話は募集目標の400人をクリアしたが、要約筆記者は80人下回ったことなどを紹介。本番では登録者のうち約2割が辞退したことも踏まえ「先催の傾向も参考に、宮崎も同じように想定したほうがいい」と助言した。

また、「技術ではなく、おもてなし

の心が大切。失敗を恐れずに笑顔で気持ちの良い対応を目指してほしい」とアドバイスした。

後半は筆談の実践研修も行い、2人1組で1枚の紙を使って自己紹介などのやり取りに挑戦していた。



2人1組で筆談の練習を行う参加者＝9日午前、宮崎市

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

電子
特報

2025年（令和7年）2月10日（月）

〒880-8570 宮崎県宮崎市高千穂通 1-1-33

【購読申し込み】 ☎ 0120-37-3821

詳しくは11日付（火）以降の宮崎日日新聞をご覧ください。